

## ローカル（地域）ガイドの現状と課題

WNGL 世界自然ガイド総合研究所

ローカルガイドとは「地域限定でガイドするガイドやガイド組織のことです。  
その中でも激戦区である屋久島・上高地・尾瀬・八甲田・知床を除くエリアです。  
（そのエリアでは例外となります）その中で抱えている課題を現状から洗い出し、  
改善するための方法や行動を思考します。

### <7つの現状>

- 1 ガイドオーダーにバラツキがある  
（ピークシーズン以外はほとんどオーダーがない）
- 2 活躍中のガイドはほとんどが高齢者中心である  
（特にリタイヤした、年金生活者がほとんどである）
- 3 ボランティア的な思想が多い  
（少なめの報酬だけで活動している）
- 4 組織の母体は行政主導型が多い  
（行政が中心となり発足し組織を運営している）
- 5 ウェブサイトやパンフレットなどの広告媒体がない  
（申し込みを希望しても、連絡先がない）
- 6 受注しているほとんどはパッケージツアーである  
（個人で申し込む方（パーソナルガイド）は少ない）
- 7 研修会やセミナーなどはほとんど行わない  
（スキルUPのモチベーションがほとんどない）

### <7つの課題>

- 1 仕事が少ない
- 2 若手がない
- 3 報酬が少ない
- 4 自主性（自立）がない
- 5 広告をしていない
- 6 団体しか受けない
- 7 やる気がない

**結論 「あと10年もすると会は消滅してしまう。」**  
また、ガイドはそれでも構わないと思いついでいる  
行政も、打つ手はない（危機感はない）